

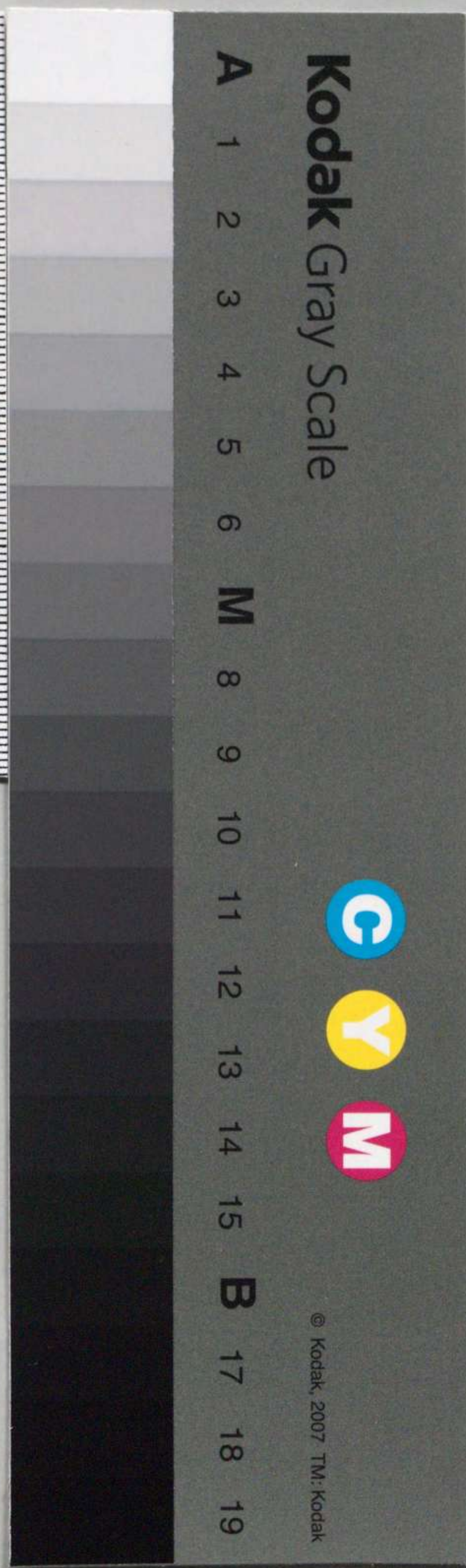
# 都林泉名勝圖會

三

和書門  
八七四  
函號類  
六八九  
冊架

内閣文庫  
和書  
八七四  
冊號類  
五三函  
一五  
架

内閣文庫	
番號	和 8874
冊數	6(4)
函號	172 184



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



京都府立総合資料館  
圖書部

都林泉名勝圖會卷之三

目錄

清水寺

難波高石 朝鮮石

延令院

歌中山 要石

蓮華王院

善源院 什宝井

月輪

虫干圖

萬壽寺

虎園禪師趾

正徹墓

同西門圖

田村九田 穉

善書院 若月名所

若松池

燕子遊宴圖

智積院

東福寺

三聖寺

靈源院

正統院 北殿同古跡

通天橋 觀紅楓圖

成就院

湯屋谷 烏帽子岩

宝生院

南無院 雲山國阿堂

阿弥陀峰

法住寺殿古蹟

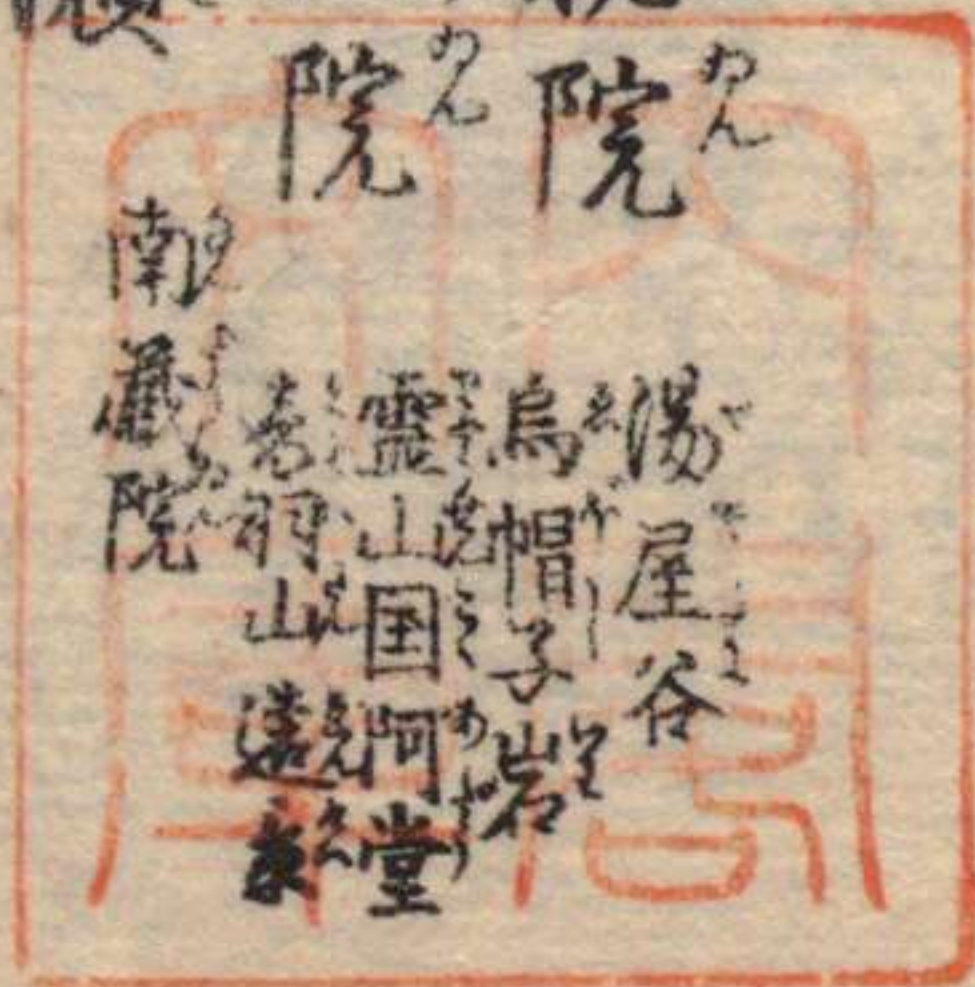
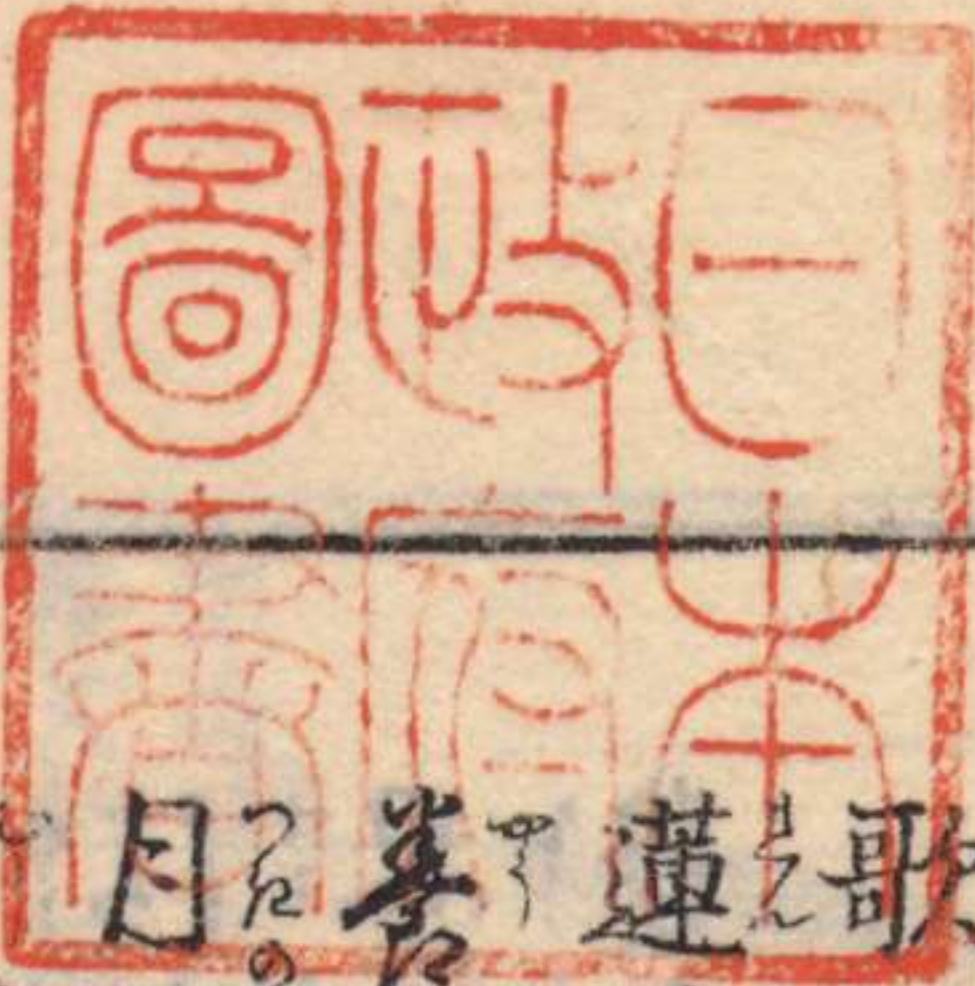
助塲觀和蘭人

什寶

島燈爐

海藏院

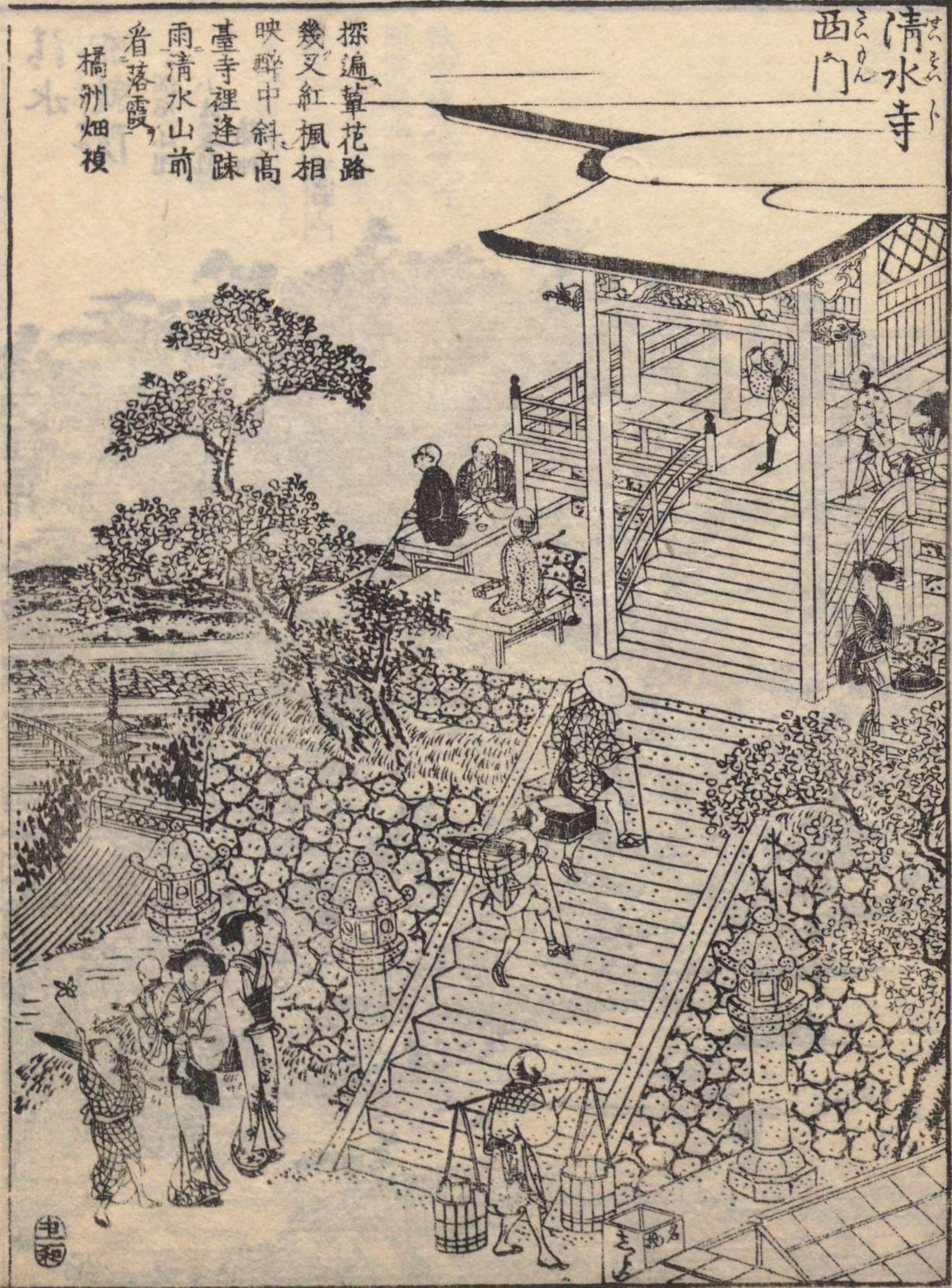
栗棘菴 即宗院





探遍葦花路  
幾又紅楓相  
映醉中斜高  
臺寺裡逢疎  
雨清水山前  
看落霞  
橘洲烟複

清水寺  
西門



都林泉名勝圖會卷之三目錄終

自然居士墓  
同記  
南明院  
北殿司墓  
清少納言古蹟  
墨染里 有馬橋  
豐太閤霸跡

靈雲院  
正覺院  
俊成卿墓  
南昌院  
舍人親王陵  
梅溪 桃山初善光寺  
龍德菴

遺愛石  
莊嚴院  
同女墓  
清原深善父趾  
稻荷初年圖  
伏見山  
慶雲菴



百々聲

皇城霞綺開  
藤蘿翠還映  
溪隈誰知雲嶂  
回院庭幽豁俯  
祇樹籬低界竹

其一



清水成就院

相谷鉢形  
小浜達州  
補旭

嘉永六





成務院

其二



誰因何必布黃金，  
 泉石希同長者心，  
 披對干今如出世，  
 一庭樹可足祇林

新羅河







偶尋劉阮入  
天台流水弄花  
隔世埃孤杖行  
迷來藥路犬鷄  
聲近白雲堆

卅廬



田村將軍  
遇僧延珍

卅廬



若羽山清水寺ハ洛東の佳境也 倭天皇の宸筆東寶記五國家

鎮護の爲官府ハ賜了印一面とあり長財とを毎一とあり額

侍従之納言行成の系と著聞み足るる縁起ハ歷代編年集成に著

垣川院あり小川あり一七日宿したる東元亨教書あり之權那

坂上之宿彌田村倉鈴麻山の鬼神退治の事山縁起み足るる外の

實録聞え及悪七老湯系法主馬盛之の靈驗平家治の長門本小詳あり

地主の極むむりり名を古跡多し若羽院ハ四時増減かく清冽あり

て所謂五名水の其一と拾芥抄あり清水寺ハ十景あり

古崖懸泉 春巖開花 音羽疊翠 靈鷲疎鐘 洛陽萬戸

鴨河一帯 東郊烟雨 西門遠眺 岩嶺晴雪 龜阜暮靄

新撰朗詠 清水寺上方迎春 正遍

自然齊發句集 黙雲稿 第五橋東山路斜 飛泉吹雪梵王家 太平有象遊人喜 清水寺 天隱

秋あるそりきき水にこりりく竹し風せわあらしみふた多

きの葉はろくと池のうらまふ冬つれをまたとみちか づ厚の

のまふを戸わくちりしとたる瓜

ひとし身いつしあれたものどうたこの原ちね本葉とぞ

池の若もいづらんおふあをれわら頃も宵うか

くらし一丸とく人ごりたうか清水寺の池乃とく系

とらするかたわ妹をなれつひ月をいん清水乃池

境内成就院の林泉の名をよして相阿弥の化後小垣遠州修補あり

所之振袖の手水鉢籬岩名烏帽子石ハ酒麩浦よりあり平接次

飛石五つの名石ハ加藤清正朝鮮より取帰るるあふ新附次湯

登漢ハ秀吉公あり小遊ひやハ浴室と建られ古跡之今中門ハ形

遺より護摩堂ハ東福門院の浄室附ありハ庭造り洛東の妙境也

遠近ハ系と連なり又同境室生院の客殿ハ往昔

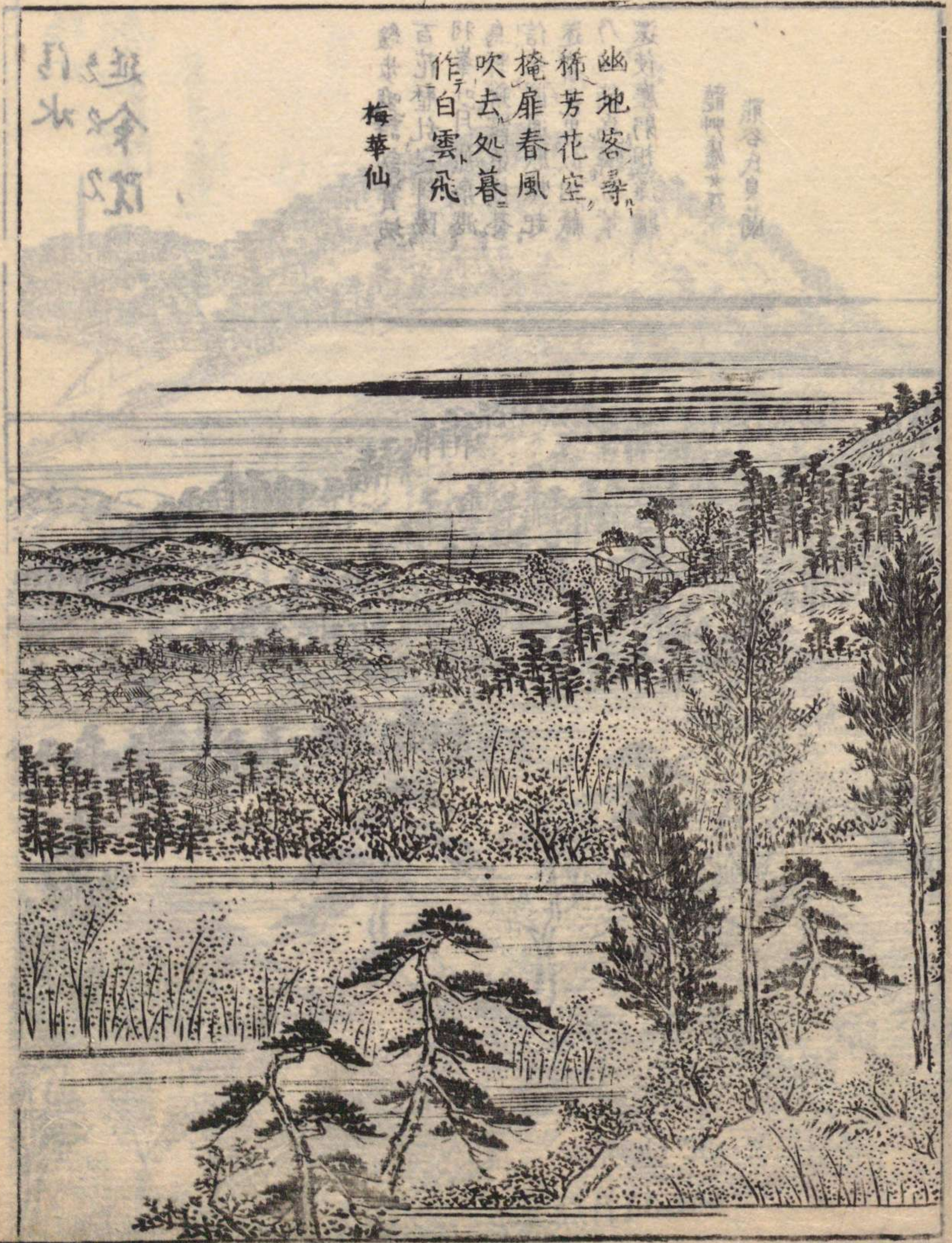






梅華仙

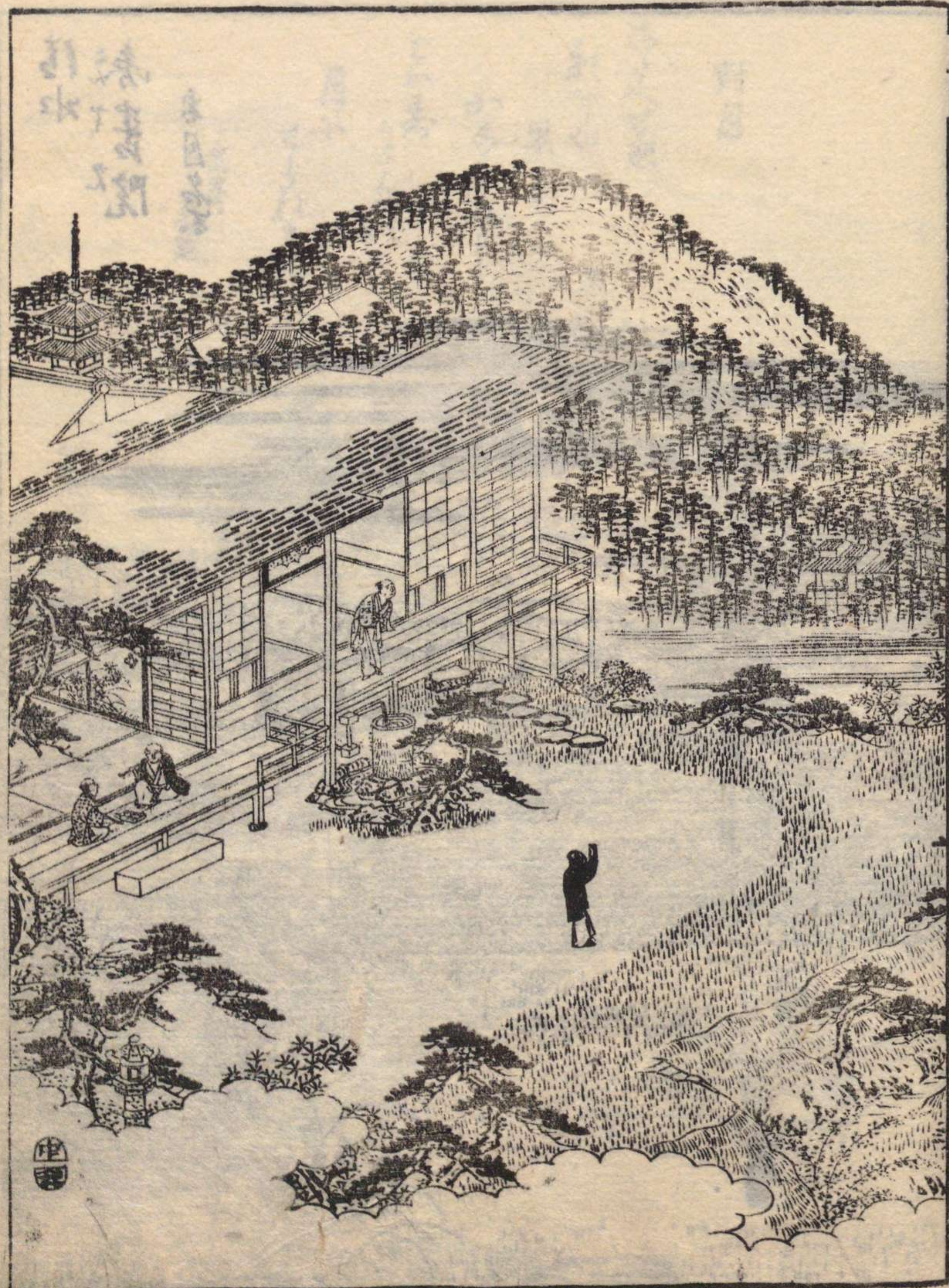
幽地客尋  
稀芳花空  
掩扉春風  
吹去處暮  
作白雲飛



法水  
寶生院







清水延命院

印

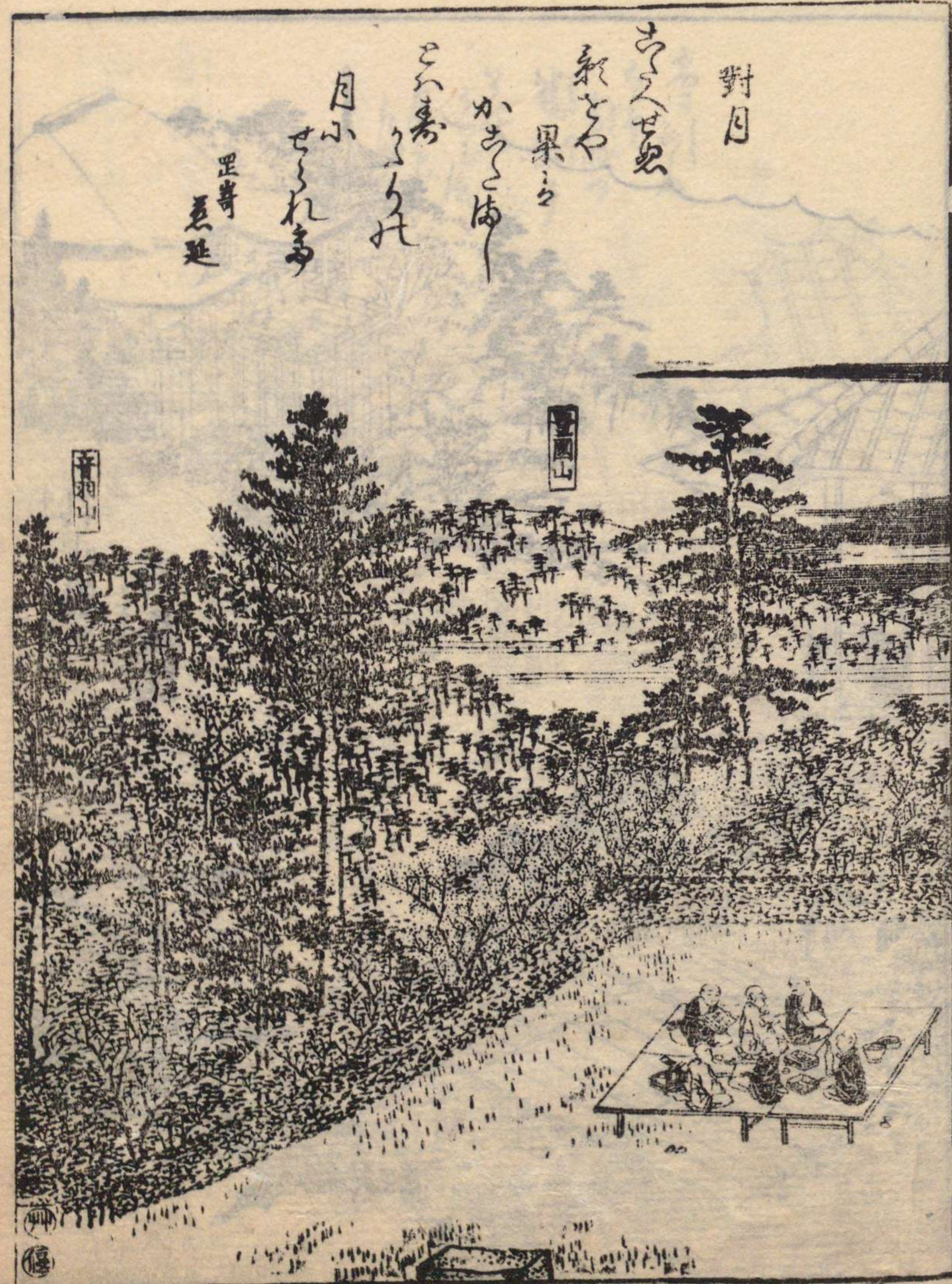
清水延命院

緩步哦詩訪寶坊，  
 百花歷亂送斜陽，  
 羽峯吐月飛泉濺，  
 鳥野鏘霞遠樹蒼，  
 信求圓通感懷起，  
 迷窺色界似相藏，  
 乃公能為憐古筆，  
 還使塵躬想淨疆。

龍州廬文孫  
 熊谷氏貞蘭





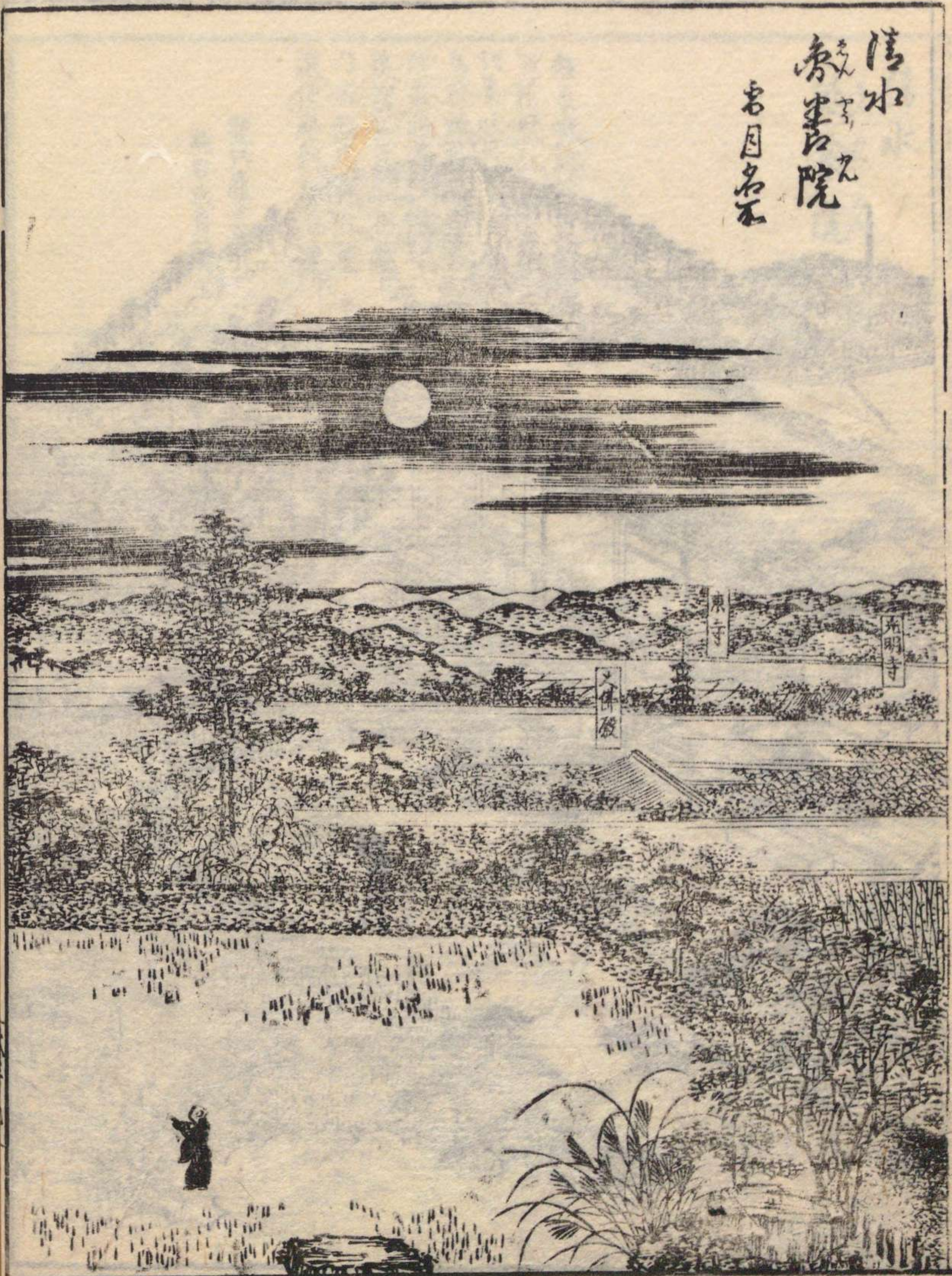


對月  
 ありて  
 新とや  
 果之  
 か  
 月小  
 世奇  
 長延

音山

山

印



清水  
 教書院  
 名目名不

又傳殿

山

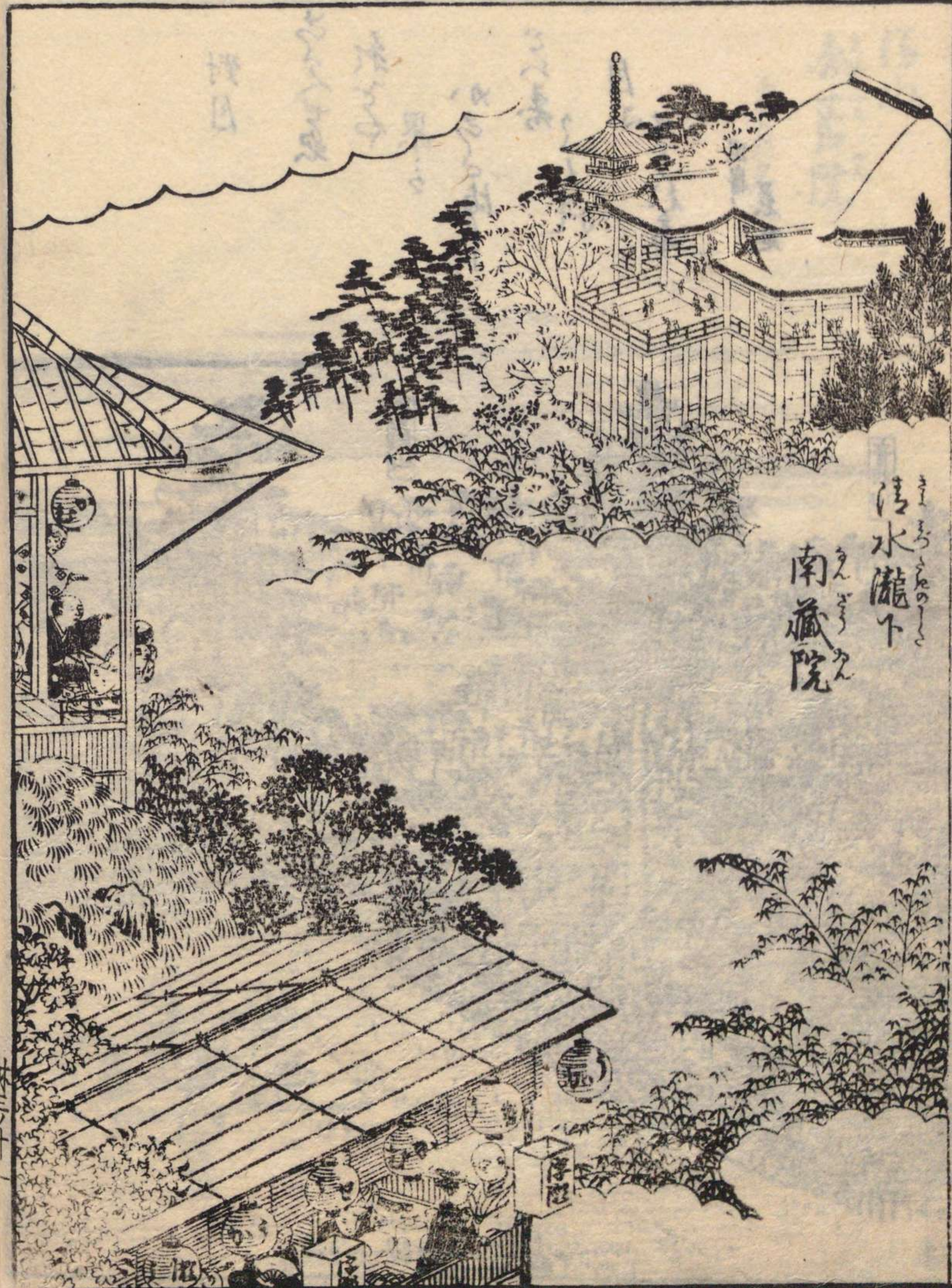
光明寺





南園亭  
海神池

名可あひ  
らそ  
籠飲子  
花も  
うま  
月を  
はさ  
心静



清水瀧下  
南藏院





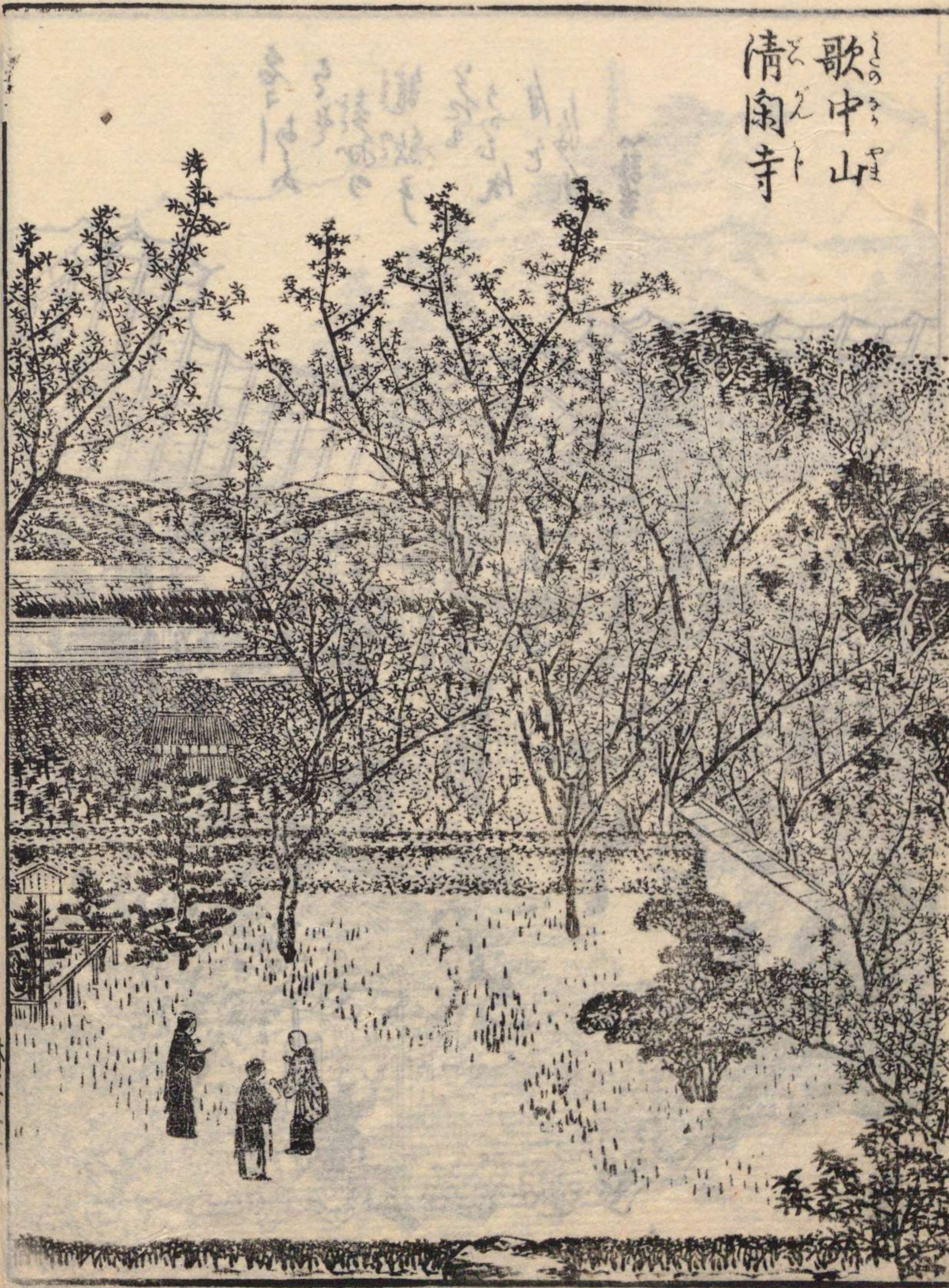
秋興

夕ぐれに  
あそび  
あそび  
あそび

秋の月夜

夕暮

息延



歌中山  
清閑寺



蓮華王院の堂前の林泉に燕子花咲みどれ初夏の幽艶をむく  
け堂のやうり小體泉あり一之亭釋書百練抄且も是より今の表位  
水ありん泉

著園集云

永享元年六月八日蓮華王院の兼仕り兼後戸の神乃角より也  
丈四の間に黒い山ありたり器よりやんとされ老僧出立と云拵け水  
とは何の料も極どけ水細いゆきとも八功德水其落利益會識方  
後水ありありむすむすより精進より汲とありと云せり也  
覺ふたり去後母件の後戸の石河乃下に現水ありたり貴後汲れ  
ともそざりたり又くまぬ時におもひたりと不思議なりたり事  
當時の水は之の所のより其なるより貴末なり

法住寺古蹟

今の蓮華院智積院の地なるん泉初ノ太政大臣藤原為光の建立  
法住寺所新といふ名泉あり桐井といふ今さうりたり  
如應二年法住寺屋の表上のち合は閑路藤原のいふ泉  
いづくの木なるなりといふれ名と云たる事この園 後成

平治物語七門卷

平治元年二月廿日法住寺殿へ所ありけ所新の應保元年四月  
十二日所移徒有く後山水木立かとの所志門らひ且至りたり思  
あうふせをせはしりて新日若新然其辺を小祝もせり

善源院

蓮華王院の東ふり天台宗開山盛伯法印本願の勝從二位權中納言前  
備前守藤原長政の息女豊長秀吉のの内政又眞院興大姉の建立  
なり圓祿の後ハ崇源院勝一位和興大姉の再建也 當院の林泉ハ風光間  
あれハ英岩の所姓より事ハ鐘の銘もいふなり

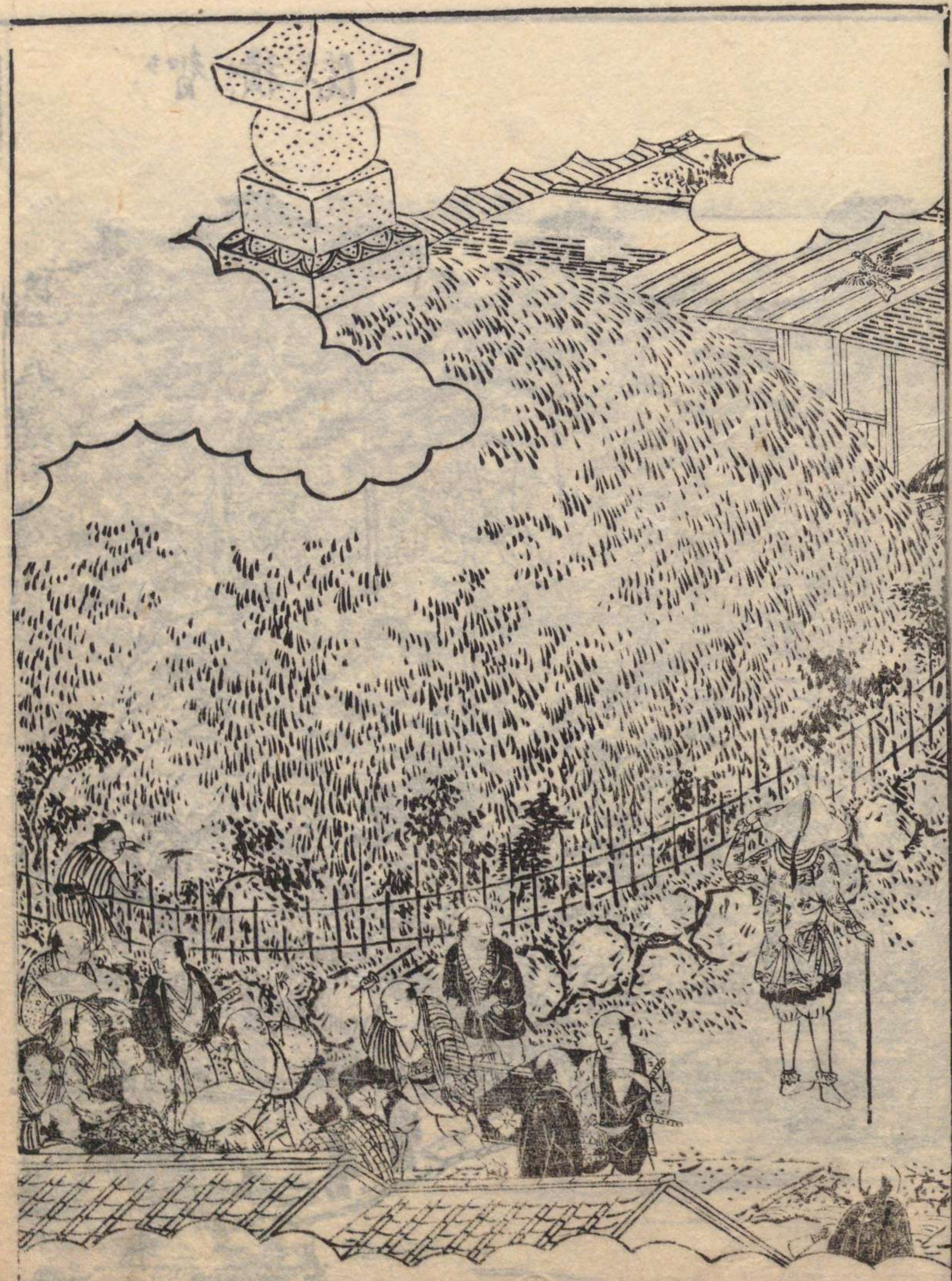
雅みく奇岩あり大客殿櫻欄前松間ハ俱小宗達等桃間上段  
の松鶴ハ俱日永徳の等葵間も同等と云傳へ

杉戸貳枚 西表象東表獅子 宗達等東廂杉戸 南表柏鷹 同北西側

杉戸 東西白澤王 瀧本坊昭葉等之小客殿然藤間弱竹間菊間

上段樹木都く宗達等袋棚小襖 古法眼等 櫻ハ老く敷金極彩  
の客殿書院ハ伏見城の 什宝 壺 鏡 豐太閤持物。雲井。建。混。子  
鑑合とく小引移りあり 什宝 風爐。茶壺。茶碗。御硯。書。備。石  
。花生。左文字太刀。西湖圖。和琴。文。櫻。櫻。繪。籠。書。備。石  
秀吉の所持持。豐國御騎。秀頼の十二支。秀吉の係。秀頼の係。菅。公  
所硯。虎画。明兆等。十三佛。巨勢。金剛。菅。神。自。法。善。學。喻。品。  
到得。還。年。金。別。奉。一。休。等。為。教。十。品。あり。畧。之。

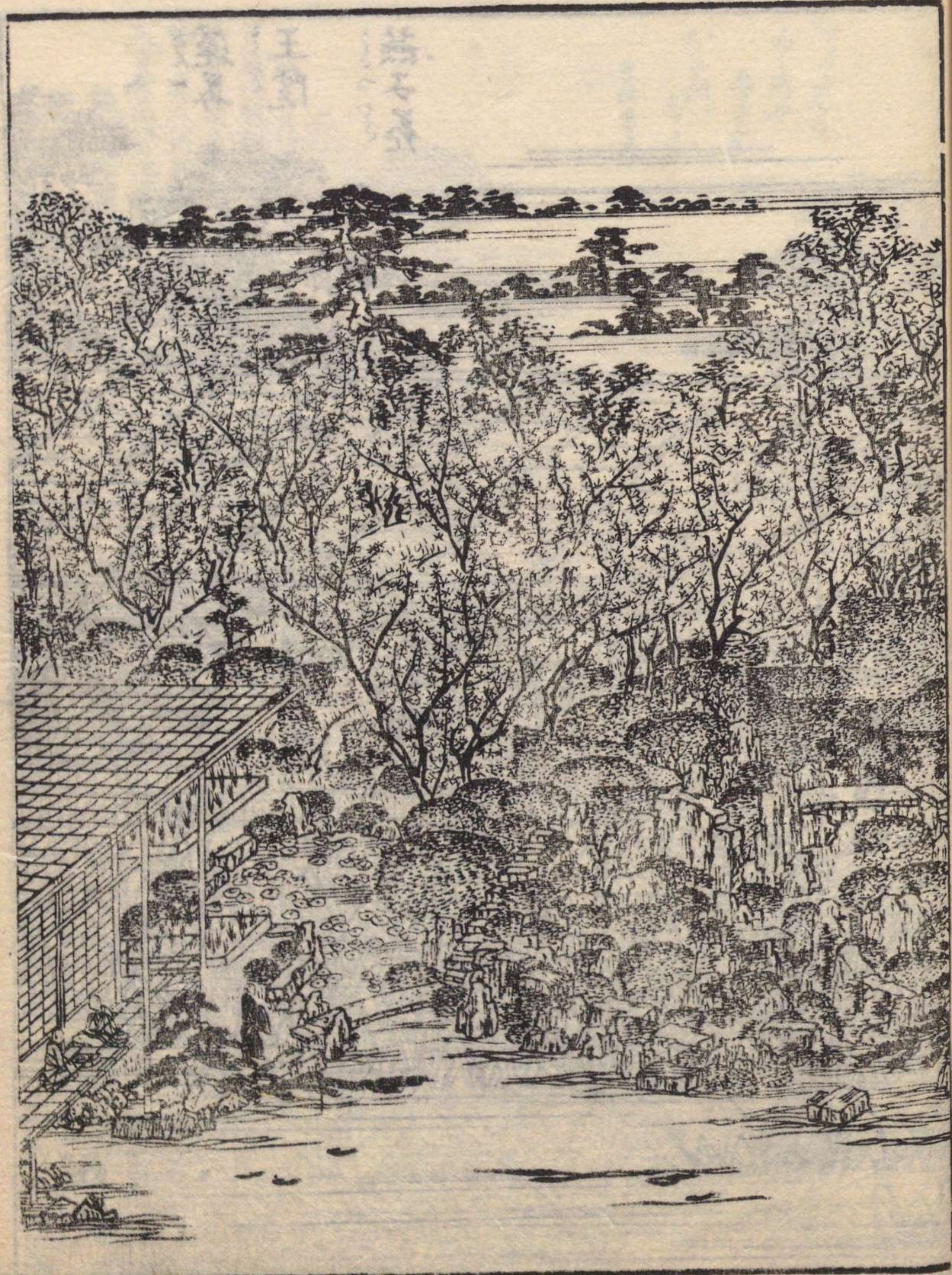




喝蘭人  
觀耳攝

豐氏西征計  
策完凱旋曾  
此築京觀岡  
蘭入貢太平  
日猶使  
遠人  
肝膽  
寒  
鶴橋  
柚木太淳  
因障





智積院



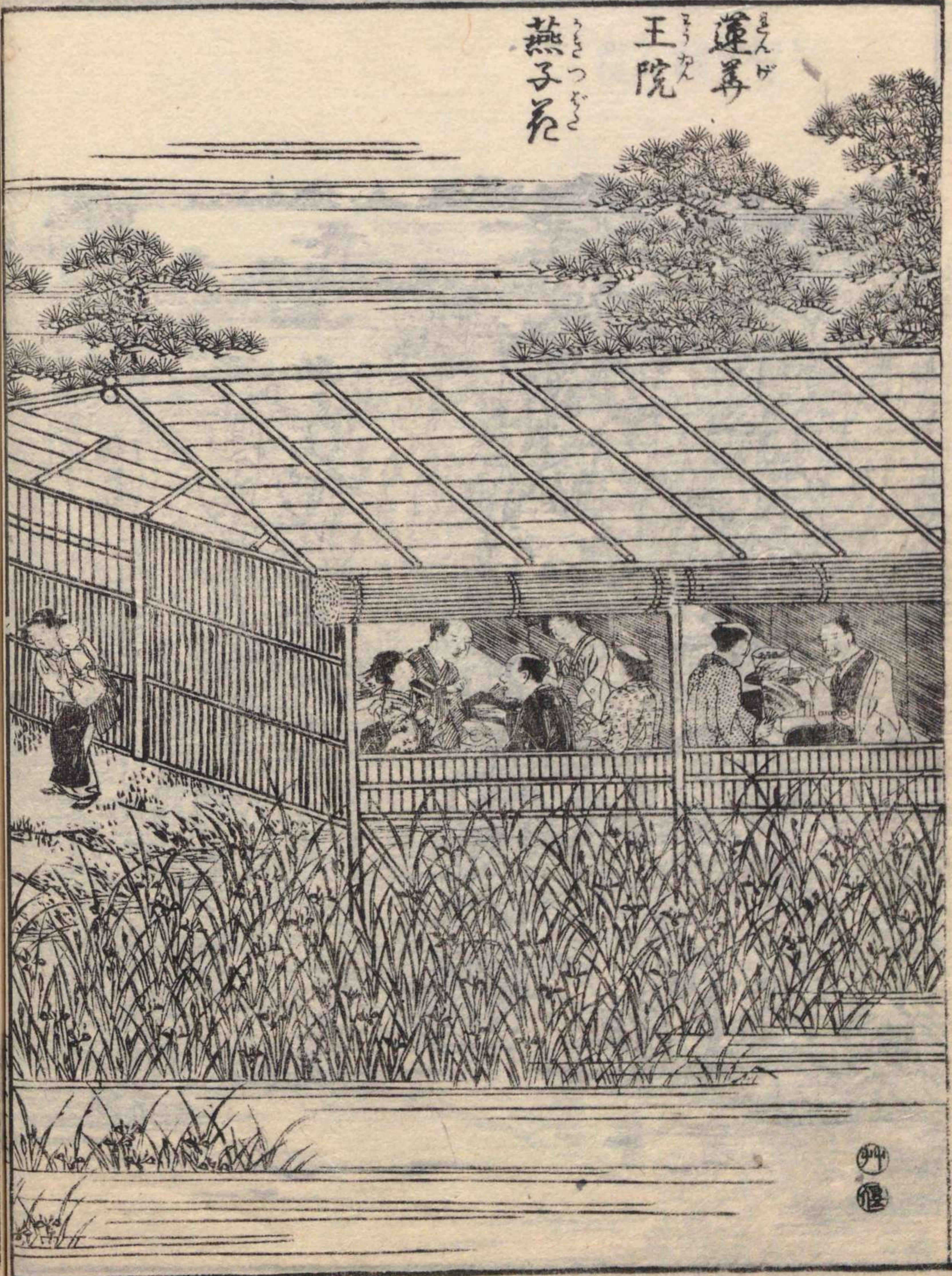


燕子花  
薰風吹動綺羅衣  
巨佛堂南步不違  
欄上番人何所語  
笑言紫燕碧池飛  
鶴山畑維龍

河之月乃  
ふたつや  
かき川  
里村男遠



蓮華  
王院  
燕子花



印

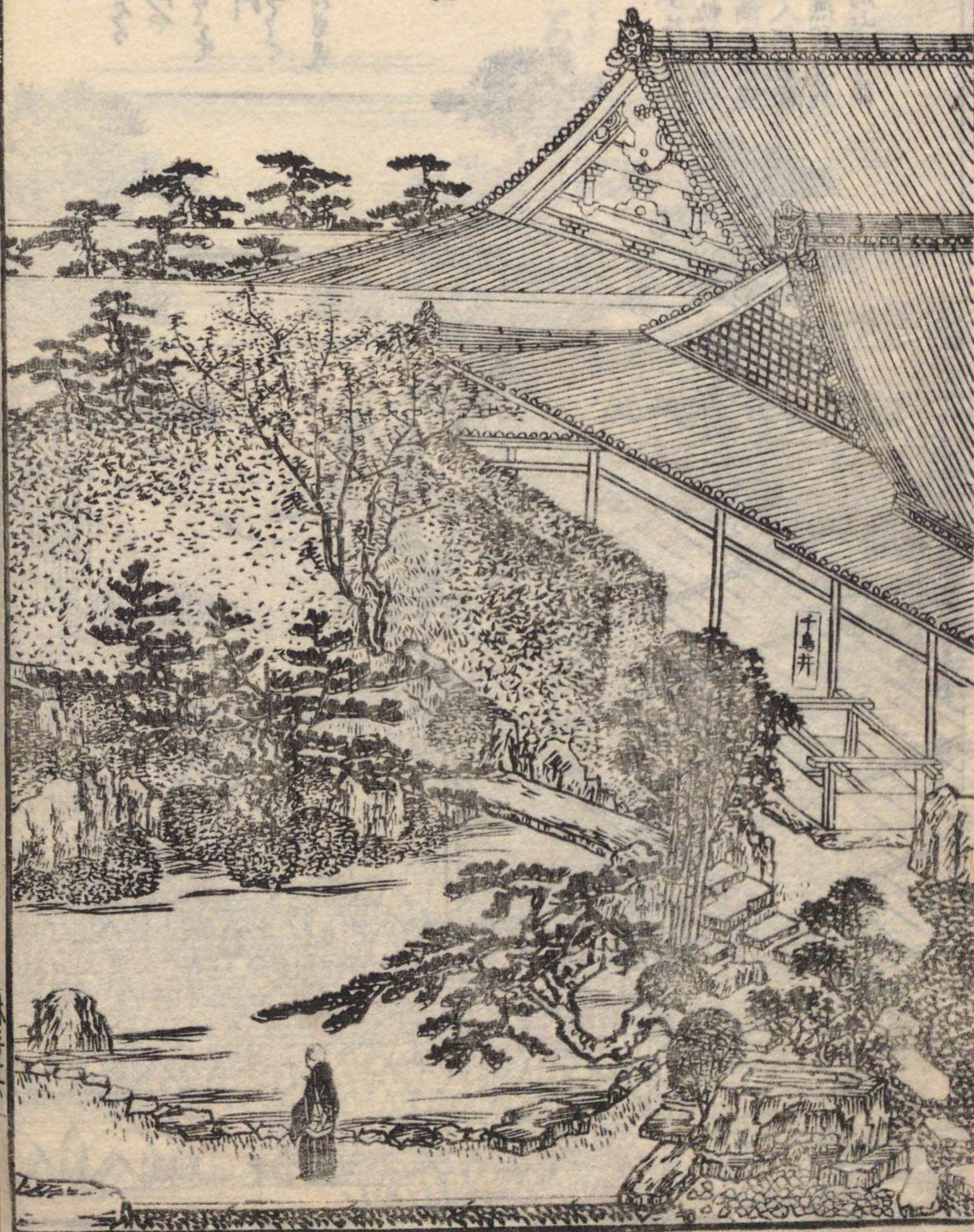


小坂遠州作



其一

善光院





喜源院

其貳



智積院

喜源院の東にあり、真言新儀、醍醐基正、憲法印の地、初に豊太、  
河子、葉君、菩提の石、小創、建あり、く、祥雲、禪寺と稱、を、願、后、故、障、  
將軍、家より、覺、後、派、斷、絶、と、斷、し、初、願、小、池、所、と、創、し、為、院、と、あり、に、建、所、  
あり、く、妙、心、寺、と、風、院、と、移、り、來、り、し、妙、心、寺、の、都、小、く、あり、し、り、

原、尚、院、に、法、住、寺、殿、の、古、蹟、小、滑、谷、妙、法、院、と、限、り、南、に、新、修、其、瓦、版、  
と、限、り、林、泉、に、東、に、翠、巒、層、々、と、く、深、林、の、中、小、寶、閣、寂、々、と、り、客、殿、  
書、院、俱、小、百、花、の、圖、長、谷、川、等、伯、子、玄、園、松、小、鶴、の、画、と、同、子、之、み、る、想、金、  
極、彩、色、之、艸、木、の、繪、此、屏、風、一、雙、も、極、彩、色、之、と、あ、り、等、伯、の、子、之、  
生涯、の、奇、事、を、み、し、く、世、に、比、較、か、し、

月、輪、今、の、名、備、さ、り、南、東、福、寺、境、内、の、地、名、と、い、ひ、し、一、九、條、殿、傳、領、の、地、  
道、家、之、禪、法、と、傳、し、光、明、寺、に、建、く、昆、沙、門、之、法、安、屋、は、齋、跡、と、  
傳、し、月、輪、の、東、に、希、宗、院、の、真、之、法、小、堂、一、間、所、と、傳、し、く、東、福、寺、に、  
創、し、臨、禪、定、兼、實、之、愛、宕、山、に、住、居、し、り、車、同、記、小、堂、又、臨、  
引、と、名、小、樹、ト、く、希、慶、後、法、所、の、同、基、之、月、輪、と、名、小、堂、ト、  
り、今、の、東、福、寺、の、境、内、の、地、

東、福、寺、四、至、文、寺、敷、山、堺、事、限、東、月、輪、殿、堀、路、通、限、西、法、性、  
堀、限、南、溪、川、限、北、東、山、院、田、端、遷、化、の、年、を、り、  
弘、安、三、年、弘、安、三、年、一、國、作、

東、福、寺、四、至、文、寺、敷、山、堺、事、限、東、月、輪、殿、堀、路、通、限、西、法、性、  
堀、限、南、溪、川、限、北、東、山、院、田、端、遷、化、の、年、を、り、  
弘、安、三、年、弘、安、三、年、一、國、作、







東隣の空地より墓の鎮守の傍あり山地主神畫の重塔の傍あり石  
 張より若明寺の内小南山塔あり常樂菴の号は額の後光明寺殿等  
 子派當の古跡名所多し塔頭は次下小著次  
 東福寺什寶

大政官牒

當山境内四至文 從光明寺殿下 賜南山聖一

藕絲袈裟衣 壹頂

。神明より南山園所ノ附属

。蜀紅錦包物一片

。後水尾院帝所寄附

右神宮龜甲御襪子 南山 感得 斤

同 乾孝和尚贊 一幅

聖一和尚之寫 光の寺より奉台鏡 兼修公與寺者 壹幅

維摩像顧愷之 壹幅

跋陀婆羅像 若舟等 壹幅

顏輝等 十幅

牧溪等 二幅

内季昭等 二幅

張即之等 十二幅

顧愷之等 四幅 壹幅

同 佛光園師贊 壹幅

無準和尚等 十六幅

殿下道家公台額 壹幅

南山聖一園師等蹟 六幅

持明院太上皇宸翰園師等 一幅

月輪殿家進狀 一幅

惠日山圖雪舟等 一幅

東洲和尚 宋人 南山法子 貳幅

釋迦像 吳道子等 壹幅

左右文殊普賢 同等 貳幅

佛鑑禪師自畫額頂相 壹幅

左右捌之鳥 同等 貳幅

釋迦文殊普賢思恭等 壹幅

竹樓記圖 陳季昭等 壹幅

岳陽樓圖 同等 壹幅

解翁亭記圖 同等 壹幅

兼天寺額 無準等 壹幅

方丈額 張昂之等 壹幅

旃檀林額 同等 壹幅

十六羅漢像 可翁等 十六幅

五百羅漢像 兆殿司等 五十幅

鐵拐王蟾 同等 貳幅

涅槃之像 同等 壹幅

兆殿司等 百字幅

雪舟筆 二十幅



元亨釋書 虎関和尚真蹟 全部二十卷箱入

張旭草書 一軸

元菴和尚書 貳幅

陳季昭書 三幅

方廣鐘銘 貳幅

東福寺塔頭林泉小引 終とくれ奉る

二聖寺 北門の内小あり古天台宗釈迦阿難迦葉等八伴殿に安んずる

愛深明王 八角堂 泉燈燭 近年二聖寺の林泉に板に古他史盛と

萬壽寺 今二聖寺小兼帯次初ハ坂川院永長二年の茶創平治三年

靈源院 終泉和尚開基付室小章駄天画像伴舍利あり 後醍醐帝

岡山護摩具 壹箱

伴鑑禪師印箱 八幡宮 神教入 壹箱

笑金舍利塔 壹基

内伴舍利水晶塔 入外箱四重

赤塗唐櫃 六十箇

瑤瑁茶臺 三箱

海藏院 虎関和尚の傍坊之和漢禪刹云虎関和尚上護 師鎌嗣東山寶賢 洛陽人貞和二年七月廿四日寂六十九歳 翰林五鳳集 海藏院偶化

南北東西不定窠一盃三事是生涯 近來自笑如蜘蛛子到晚區々解造家 虎関

正統院 聖一厨師の法嗣自舟和尚の開基之北殿司とあり栖中入く 橋為の神感と崇りて光明寺 隆興谷より移興と傳中入く

栗棘菴 白雲和上公開基と傳 謙惠 隆興寺の伴照禪師 永仁五年十二月廿八日志度より化け

心徹叟墓 墓碑云 若徹書院ハ紀氏東福寺の傍と云はれあり 若伊の妻と成今川了俊と 親く冷泉門下の志友と云はれ 菴と松月と号し 後山科小橋より招月と云ひ 菴の 墓根と云つけ那くさら茶也宿ホ世のと云り 長祿二年八月廿七十九日 寂す 其師承を承る云ひと云く 小い一塚 冥冥と云はれ

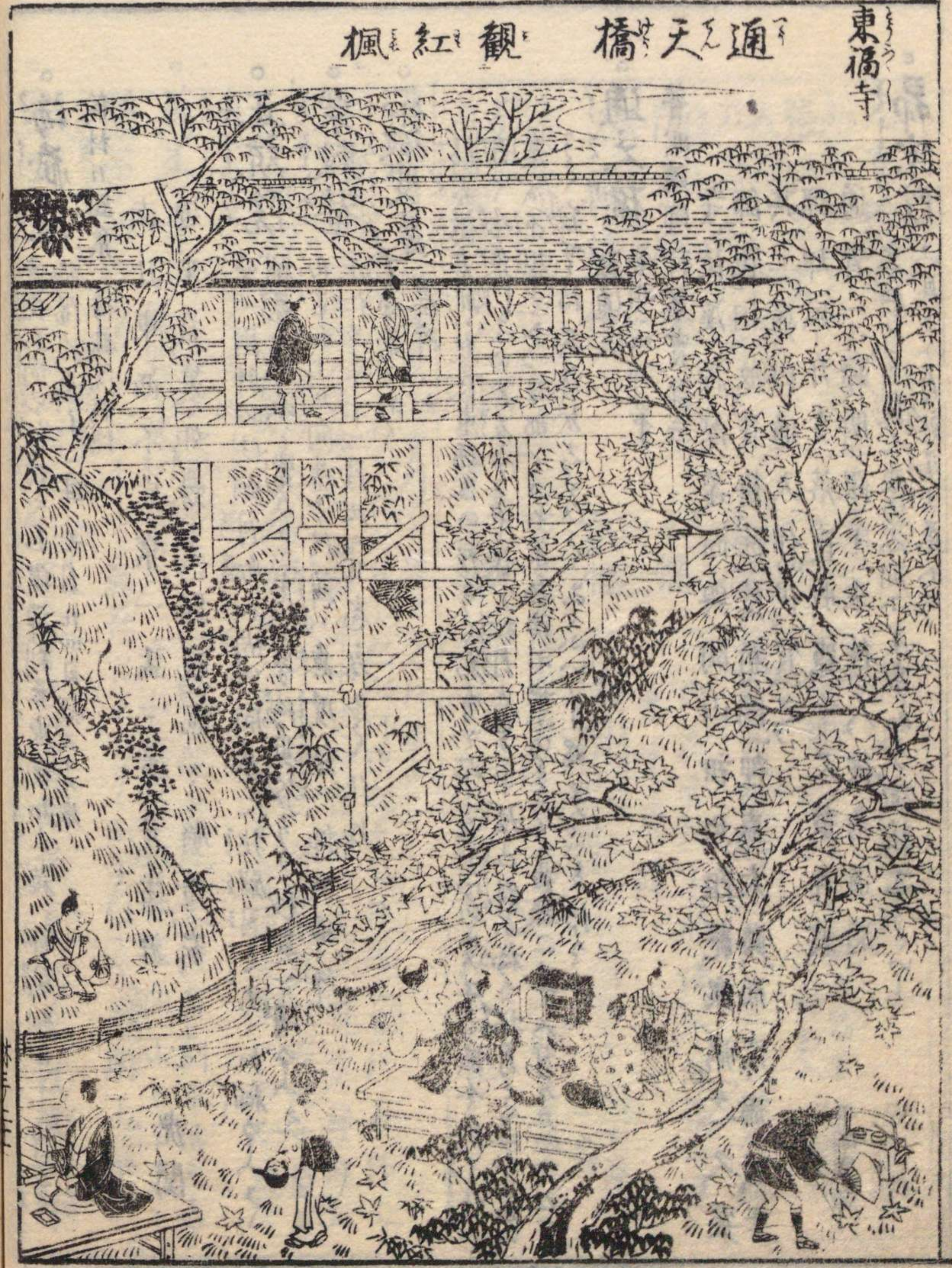
通文橋 額通文 普明國師行業實録云 寺後溪澗深邃而與開山祖塔阻絶衆病之久矣 師親相攸艾檣除荒新開徑直大路而架橋梁于 其上扁曰通天作偈賀之 揮却風斤支落霞虹霓千尺截奔波 通霄一路脚跟下來往人從鳥道過

希宗院 客殿の東の山向小茶亭あり 推薪亭と云ふ 普明國師



東福寺

通天橋 観紅楓



あふ  
る  
名  
を  
と  
り  
て  
入  
る  
棚  
の  
り  
ち  
れ  
か  
や  
を  
あ  
い  
る

洋菖蔭

通天橋観楓  
霜染丹楓蕭寺秋  
蒼々林靄夕陽幽  
通天橋上凭欄望  
一道清溪帶錦流  
瀬尾教延









不二菴  
遺愛石



猶帶龍宮  
氣自惺佳  
人遺愛真  
中庭石其  
萬古歸無  
朽松是千  
年一撥青

東海澤菴



東海澤菴







惠日塔頭

宗 昂 院

自然居士

白砂

州 優







癸未孟秋公辭

松石竹堂題



釋文

君不見蓬萊之山在海中靈秀之氣鍾異石水噴苔蝕千年  
餘峯巒怪奇如刻畫造物偷之出入間天吳海若皆嘆惜肥  
州太守好事者愛此劇於青娥眉上有孤松蟠鬱虬龍之形下  
有百卉點綴琉璃之波安排玉盆置清池日照中峯生紫煙浮  
嵐滴水清漪漣始傳此石產蓬萊還道蓬萊在眼前高軒置  
酒車馬來滿堂賓客皆回頭也畔石還為寺中有向誰為其主相  
雪曾知故太守問胡名貴愛太守惠政人不諼上人曰三摩沙石  
色依舊蒼松根君不見峴山隨淚碑載久龜龍剝鱗甲豈如良岳  
靈雲上雲物衛護千百劫 齧 啣字改書

癸未孟秋下幹 槎客竹堂題

寬永二十年朝鮮信使申濡字君澤竹堂其瑞也此篇其自書妙法  
難讀今就真品縮臨併附釋文按似紫煙之下脫一句然真跡亦  
如是不可考也姑俟博雅云 松室杜氏識

有序令不錄

林道春詩

匡堂辟開華岳宵飛為一朵玉芙蓉只看  
湖口九峯異何用陳朝三品封怪石早聞供  
佛印名山曾愧對周顯按問道受點一頭石  
頂向生公堂下逢 石名道受故云

寬永二十年十月中佳

羅山夕顏巷叟

林春齋詩

奇石玲瓏淨几間主人客見小孺頑靈雲一  
朵觸膚寸表岳巖根滿惠山  
寬永癸未孟冬日

春齋向陽子



湘雪禪翁出遺愛石者北谷太守細川亮  
尚公之所寄也奇形怪狀自然然而然惟  
夫匪造化一尤物耶可謂戒和尚秦代之  
寶也慧嶺靈岫崑墟層城崢嶸危几遠  
出間足以羨幽居士諦哉奇章之嗜平泉之  
戒袖中東海心裏蓬萊可併按矣去歲韓  
使申濡及東都羅山其因甚齋品藻斯  
后以扇潤色三子若之撰各探得龍珠彼  
餘其鱗甲余又奚言雖然如言于魏榆  
化於穀城者波之適祖我之同姓良寧孟  
后古之遺愛也况禪公羽之需者所據豈  
用國讓為哉迺十韻之狂斐以續貂而

已

一拳空湖后萬古小仇池水匯連三島雲  
晴秀九疑危峯鋒刃競峭壁画屏奇鶴  
怪巢松剗龍思潛岸涯神功如白玉鬼斧  
削青磁涂出兜明洞似遊五岳岐僊嶠曾  
在此佛日既相移覓句追換載留圖觀郭  
契苟除元亮運又被遠公麾遺愛為僧寶  
傳觀奕盡期

三州泉也兜明狂愛后文出涉筆於凹凸  
卷之詩便堂

杜氏做書

ちんりの山予書すはあちやや  
大身に志すはあちやや  
大なる身はうらふるはあちやや  
大なる身はうらふるはあちやや











東福塔頭  
莊嚴院



獅子巖  
緝眼星懸  
威百獸赤  
毫焰起照  
群主

東福塔頭  
莊嚴院







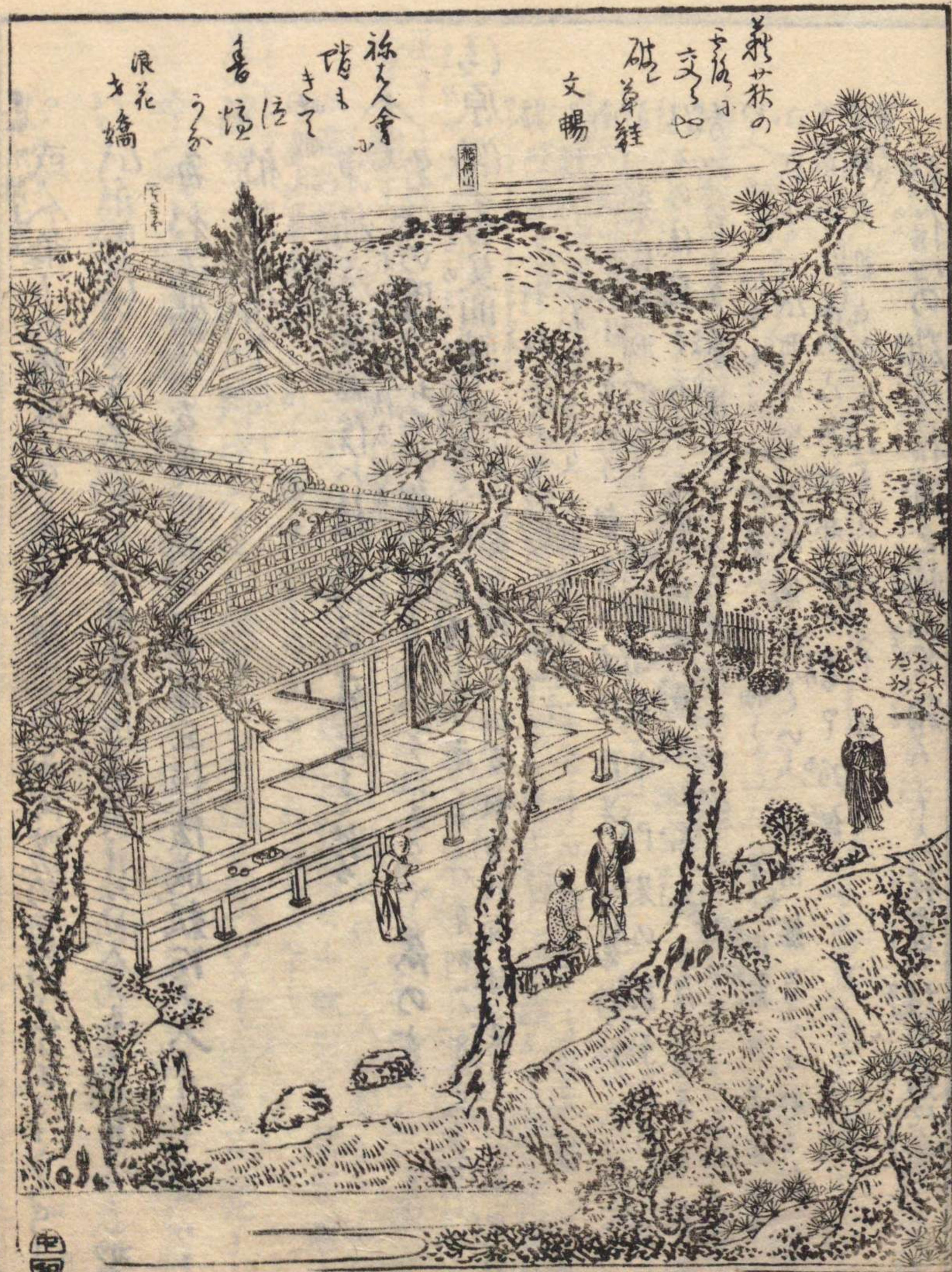
南  
昌  
院  
塔  
頭  
之  
景  
也

惠  
日  
塔  
頭  
南  
昌  
院



南  
昌  
院





浪花  
女孀

喜  
壇  
うか

祢人會  
階も  
きて

文暢

礎  
草鞋

文  
也

新  
の

印



東福寺  
南明院

後成卿墓  
日息女墓  
業仲墓  
北殿司墓

祢人會  
の  
風もあ  
祢人會  
月女













月會  
 微暈  
 夜禽  
 呼  
 花影  
 朦朧  
 村妓  
 墟  
 伏水  
 客舫  
 須早  
 發  
 苗裙  
 莫  
 漫醉  
 商夫  
 高夫

鶴橋  
 柚木  
 太萍

吉  
 岡



深州里  
 墨條  
 花魁



伏見山今の城山なり一名松原山

伏見山妻之麻の湯とや加うほの居れ枝のう乃露 定嘉

帰しと山杖の田面れ色けく松のみとらせとほふりゆ 定嘉

八月十六日ふしとみゆれありと人くらけ奇

好をとも松原山の杖風ふゆふれきとく月出りたり 伏見院

伏水の霸跡文祿二年豊大岡初之城と管治人監官佐之河内守

瀧川豊兼守佐義駿河守水野龜之助石尾與之助也殿后慶長八年

七月晦日石田三成が叛逆して金吾秀秋守喜多秀家討城と攻り河州永原

の兵率敵通しと為城に城將を居内藤彦かと戦死して英名松永

世小輝次今其荒廢田園とる川と松花をばるく生生の盛と遠近人あふ

遊宴次特め宇治見と月見岡風色出妙ありと絶傷の名區と

宇治白く松とく陰れ花菜の那 信徳

大名の字瓜松乃ととけり 正秀

月見せんぬしみの珠れ捨廓 去來

水寒し生駒にけくまの水 移舟

山河存舊色林樹競芳菲荒苑彈丸盡 梅華仙

空看春鳥飛 多少田夫屋相連古壘間幼兒繞五歳 今

能説破三韓 高臺見陳跡倚杖日黃昏空谷多年恨 今

梅溪と城山の北ありと五帝太町福壽菴大龜谷八科嶺とて初集の清香

四方小菖若草霜葩艶とて瘦枝小花婉々たりとあまふ賞

とて活下の騷人ありとの陰小影をのりてと忘る羅浮の夢何避と

題咏萬斛の香瓜儲とて天下のま小魁ととも東坡の辞あり

風香雪白大龜溪千樹梅花東復西 龍公義

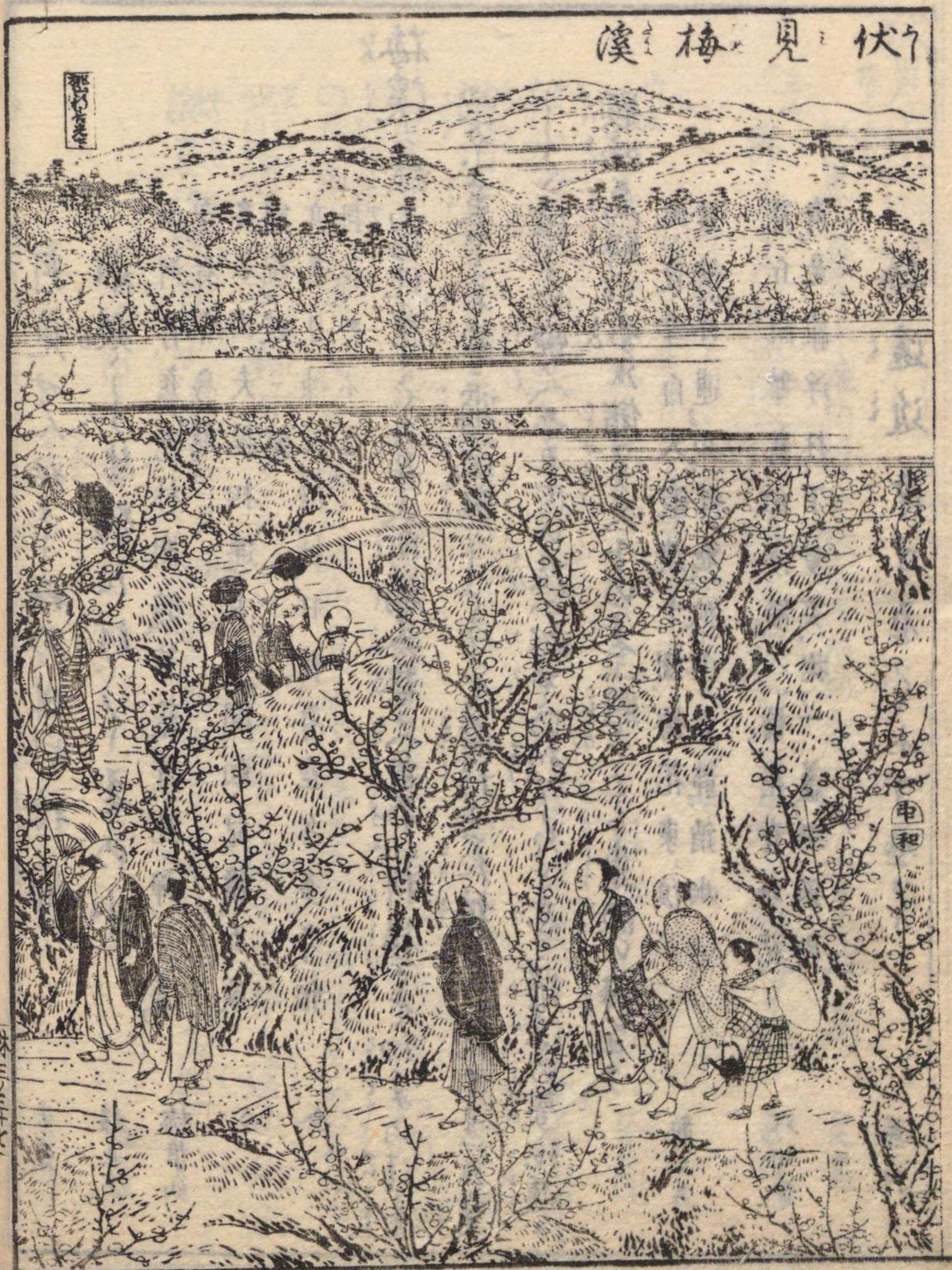
若使林逋知此地孤山春靜銷幽柵 六如菴

荒丘新壘舊金湯路入梅花春渺茫 六如菴

齊是羅浮林下夢笑拈一盞醉猿郎 六如菴

梅遠近岸寸庭く小寸庭く 蕪村





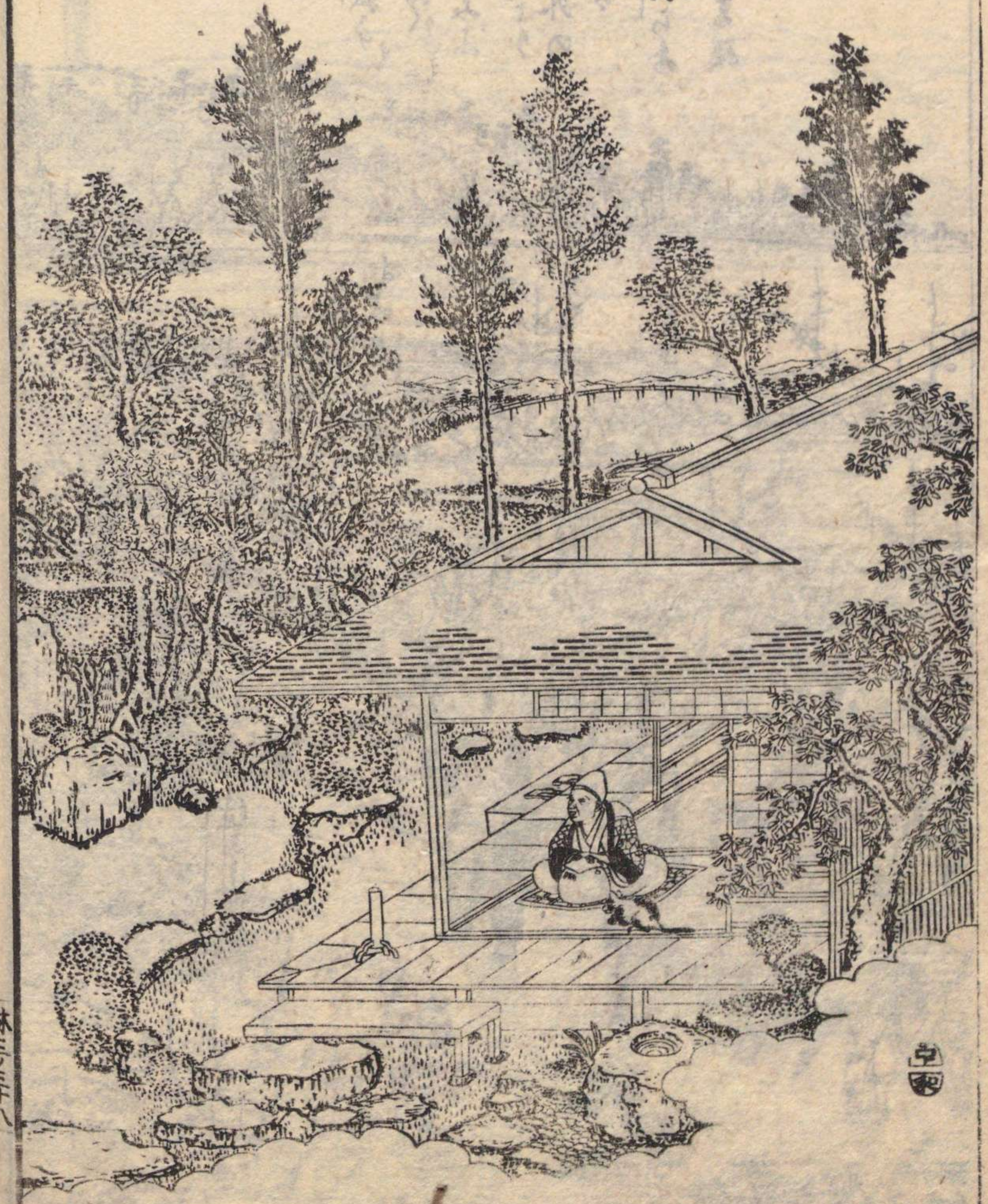


龍徳菴

小堀遠州作



伏水

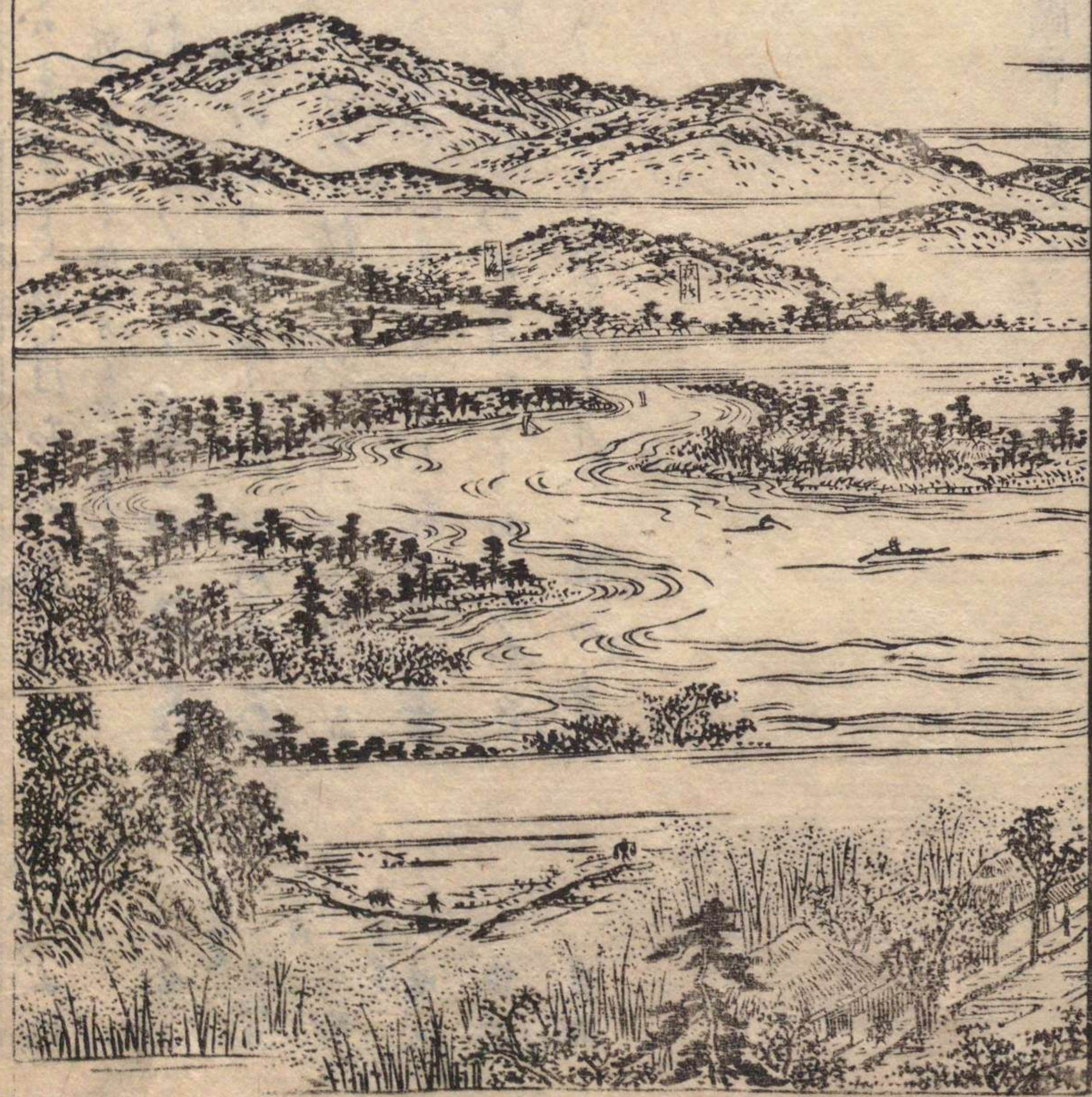


林三平八

字

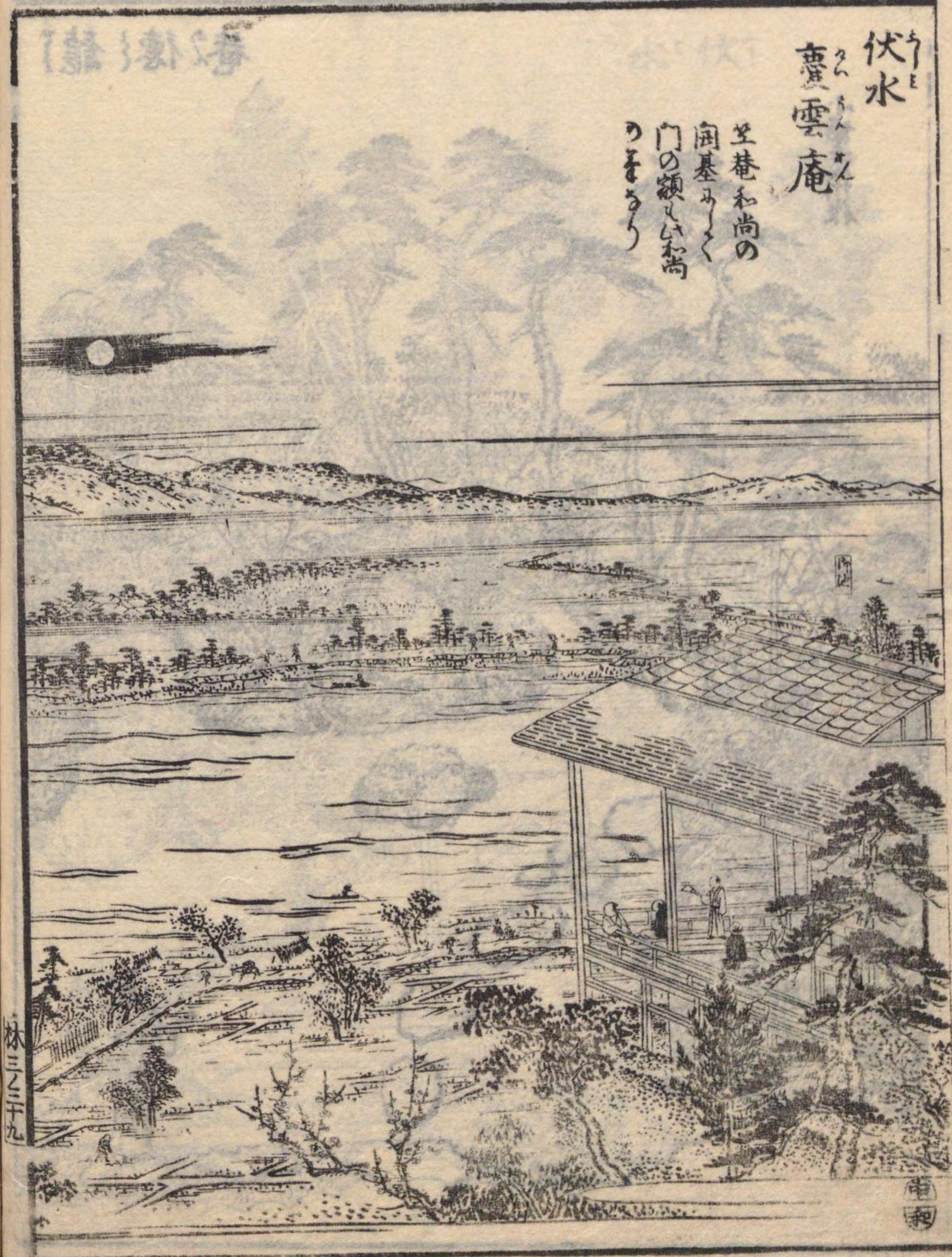


兔道舟中  
 綠水青山  
 一色秋濯  
 纓詞客棹  
 孤舟興來  
 欲咏滄浪  
 曲又恐蘆  
 州驚白鷗  
 州廬



伏水  
 賣雲庵

坐菴和尚の  
 陶基みく  
 門の額とい和尚  
 りまろり



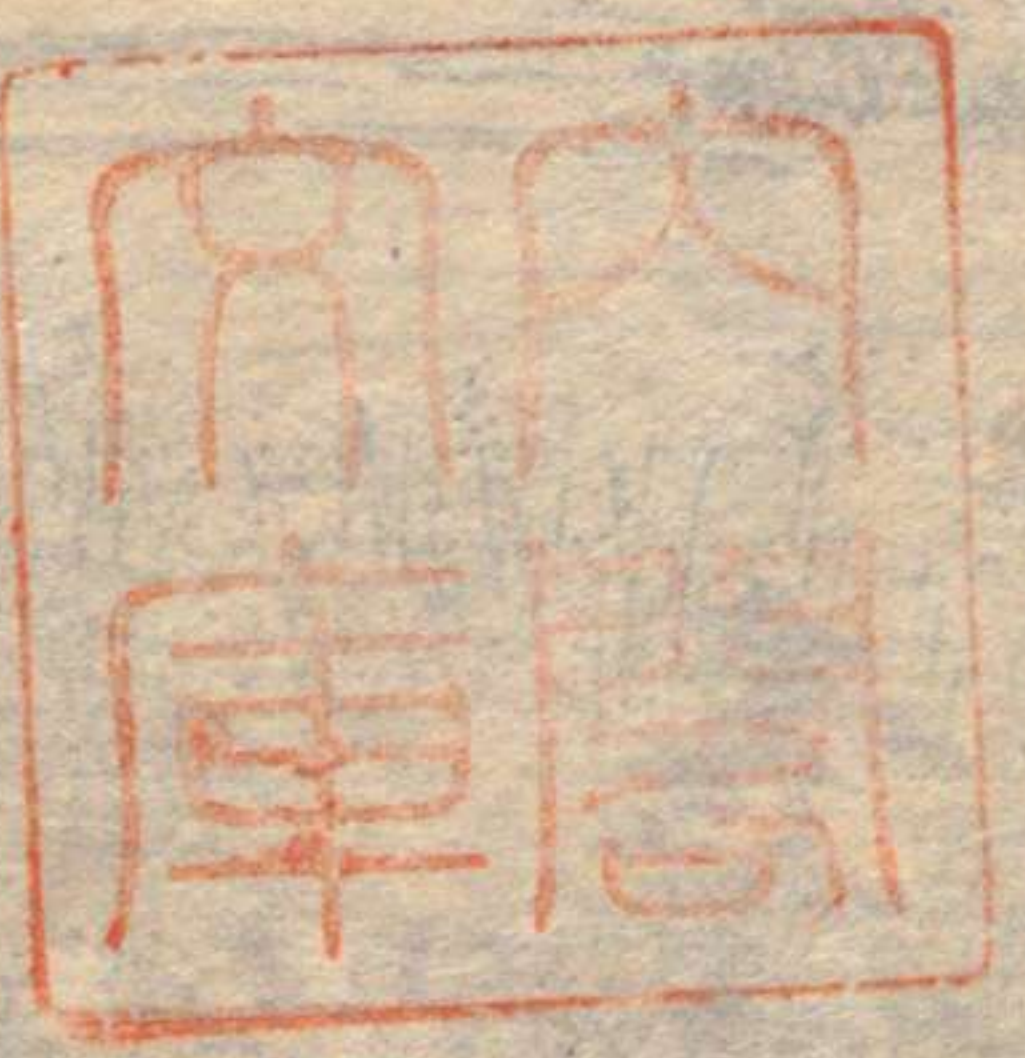


京都府 山崎 山崎山崎

梅の香やこけ月夜の面白く  
仇と畏ましく報えりとのしん草か  
 ちねらう人そ 薫るや 梅花  
 糸社のつら 社さう ぼびめの花  
 眼のさめる 伏水のむれけさうりうさ  
 梅の香やふし 葛屋も 勤くうや  
 むれのそめあ の月かうう おそやさ  
 各うーみー 春のかとむれや 梅の香

都林泉名勝圖會卷之三

終



か  
 子代  
 全  
 二柳  
 半更  
 唯然  
 定雅

林三十四終



